



市報

10月

発行所 佐賀県鳥栖市役所 1部5円

昭和35年12月21日第3種郵便物認可

毎月1回10日発行

(昭和41年10月10日発行 第138号)



バスとしょかん

田代小学校(堀田高九郎校長、829名)には運動場の片すみに「バスのとしょかん」がある。昭和39年6月西鉄バスからPTAが買い取り寄贈したもので、今年の9月再び赤と水色に化粧なおしをした。

バスとしょかんは低学年の読書意欲をかりたてる。明るい車内はバスそのままのふんい気が残され、図画や、正しい姿勢で目をはなして、などのはり紙があり幼稚園などで耳で聞く勉強だけをしてき

た新入生を本になじませるのに効果をあげている。またバス内でのエチケットも身につくそうだ。



田代小学校 (田代上町)

市民の動き (9月1日現在)

人口			世帯数
総数	男	女	
+45	+13	+32	+18
45,049	21,569	23,480	10,064

上段は前月との比較

議会だより

9月定例会議会は12日から22日まで開き、一般議案9件、補正予算案10件を審議可決した。おもな内容は次のとおり。

今回の補正予算の編成は、次の5点を主眼としている。

- ①市庁舎建設事業費を計上
- ②公共事業は前回計上を見合わせていた事業と、その後追加認証された事業費を計上し、単独事業は緊急を要するものを取りあげる。
- ③県営事業の負担金を全面的に計上
- ④水道事業会計の事務費と利子償還額にあたる分を一般会計からの出資で補なう。
- ⑤各種事業団体の補助は事業費の約1割程度とし、その他の団体の補助は40年度の8割程度とした。

昨年より27%の伸び

一般会計補正予算は9,368万2,000円を追加し、総額8億1,478万9,000円となった。これは40年度最終予算6億3,993万5,000円に比べて27.3%の伸びとなっており、8億円台の予算は市始まって以来初めてのことである。とくに事業費は3億1,500万円に達し、昨年の約2倍になっている。一般会計のおもな内容は次のとおりである。

市庁舎建設に4,700万円

総務費 新市庁舎の基本設計ができあがり、いよいよ今月中に入札、11月上旬着工となった。建設事業費総額は2億7,000万円であるが、今回3,977万4,000円を追加して、今年度分4,700万円の予算を組んだ。

上水道へ300万出資

衛生費 今年度の日住水路工事は1万7,829メートルを施工してよい

という国からの内示があったので、工事費をさらに950万円追加して4,550万1,000円とした。また生活保護家庭の妊産婦と乳児に毎日牛乳1本を配っているが、10月からその範囲を、市民税の非課税世帯と市民税の均等割世帯まで広げた。その所要

これらの事業は補助事業であるため、その事務費等に各種の制約があり増大する事業に円滑を欠く面が出ているので今回100万円の運営費補助を追加した。

梅坂の農道補修

次に開拓農道補修事業費として190万4,000円の補正をしている。これは開拓農業振興のための事業として承認されたので、田代開拓農道2号線980メートルのうち798メートルを3分の2の国庫補助を受けて、改修することにしたもので、柚比町梅坂の開拓農家16戸が便利になる。

大正町街灯へ30万円

商工費 大正町商店街49名(西山芳男会長)は、街灯51基を建設したが、商店振興と明るい町づくりを促進する意味で30万円の補助金を計上した。

土木費 市道帯図を作製する費用70万円を計上。また8月に結成された筑紫野〜久留米間バイパス建設促進期成会負担金は3万円となっている。

県事業の負担金を計上

県管道路新設改良、舗装、都市計画事業にたいする現年度の負担金を次のように全部計上した。①鳥栖〜甘木線舗装工事150万円②鳥栖〜田代線舗装135万円③鳥栖停車場〜菱野線改良45万円④久留米〜鳥栖線改良60万円⑤鳥栖〜田代線側溝整備3万5,000円⑥白壁〜江島線側溝整備7万5,000円⑦久留米〜鳥栖線改良22万5,000円⑧鳥栖〜川久保〜佐賀線舗装84万円⑨鳥栖停車場線舗装40万円⑩鳥栖駅前広場造成270万円⑪久留米〜甘木線(立体交差)600万円。

初の8億円台予算に 事業費は去年の倍額



明るい大正町商店街

経費1万9,000円を追加。

上水道工事が本格化してきたため上水道特別会計へ、事務費と事業資金の利子に相当する額300万円を出資することにした。

100万円土地改良へ

農林関係 41年度中に、ぜひ農協合併を実現するよう種々研究を重ねているが、さらに協議会等を設置することも考えられるので、18万円の予算を計上した。またこれを側面的に推進させ、さらに農政活動の円滑な運営をはかるため生産組合連絡協議会にたいし4万円の補助金をつけた。

土地改良区は34年以来約2億2,000万円を投じて約340ヘクタールの耕地整備を実施したが、41年度からはさらに儀徳地区36ヘクタール、下野地区126ヘクタール、三島地区132ヘクタールを3カ年で推進するとともに、永吉町から水屋町に至る高速道路関連のは場整備350ヘクタールも計画している。

鳥栖～神辺線を舗装

市町村道整備にたいし本年度から国の補助がつくようになったので、360万円で鳥栖～神辺線の舗装を行なうことにしている。また交通安全施設整備事業に80万8,000円の予算を計上し道路標識14本、防護柵160メートル、道路照明2基を取りつけることにしている。8月着工した駅前のお店付住宅建設費に起債単価の値上がりで240万円の追加をした。

河内町の消防ポンプ買いかえ

消防費 28年に購入した河内町の可搬消防ポンプは、故障が多いので45万円で新しく購入する。

教育費 小中学校施設の小修繕や教材備品等の修繕に100万円の追加をしたほか、次のとおり各種補助金を計上した。

- ①青年団補助12万円②婦人会8万円
- ③祇園山笠10万円④御田舞4万円⑤村田浮立2万円⑥市原水協5万円

昨年上回る交付税

以上の一般会計補正予算の歳入財源としては①市税1,680万円②地方交付税3,200万円③県支出金1,023万円④起債2,300万円⑤その他1,165万2,000円の補正をした。これらの財源のうち地方交付税は、当初5,000万円を計上していたが、このほどそれを上回る6,384万円の普通交付税が決定したこと、特別交付税は昨年の9割、1,800万円とみて合計3,200万円を追加している。これで昨年の実績7,600万円を越える地方交付税予算額となった。

団地に集会所建設

住宅特別会計では、田代外町住宅と原古賀町住宅に集会所を建設するため72万円を計上している。住宅団地では、会合するにもへやが狭いので、集会所建設は住民の要望であった。このほど国鉄建築区の古材を買収して田代外町住宅に約58平方メートル、原古賀町住宅に約46平方メートルのものを建てる。

教育委員に高橋恵氏



市教育委員会委員の一人に高橋恵氏(59才、山浦町)が任命された。

前任の広重武氏(68才、村田町)が9月30日で任期満了となったため。高橋氏は大正15年八坂銀行に就職、合併により三和銀行勤務、昭和15年大連市関東州ドロマイト実行組合、同20年満洲第453部隊に応召、22年麓村役場書記、34年市衛生課長、37年同企画室長を勤められた。40年1月依願退職し、現

在は占野商事重役の職にある。教育委員の任期は2年。

なお、前任の広重氏は3期教育委員を勤められた。

固定資産評価審査委員には吉岡八郎氏

市固定資産評価審査委員に吉岡八郎氏(53才、山浦町)が選任された。任期は10月1日から3年間。氏は農業を営んでおり、38年10月からは山浦区長でもある。前任の松隈忠夫氏(56才、牛原町)は35年以來同委員を勤められたが、このほど市農業委員に当選したため辞任された。

ゴミ焼却場新設へ

今年の課題の一つ「ゴミ焼却場」は10月1日着工、来年2月末完成の運びとなった。現在市内のゴミ収集依頼家庭は約3,500世帯。昨年は1日平均9.7トンのゴミを集めているがこの焼却能力は1日約3.5トンで市民にたいへん迷惑をかけている。

このため市は今年初めから、新設する焼却施設の方式、業者の選定を検討する一方、国庫補助の申請をしていたが、このほど200万円の国庫補助が決定したのでさっそく着工することにしたもの。建設場所は轟木町字今川で、衛生処理場の北側の市有地。敷地面積は約2,581平方メートル、栗田式交互焚き焼却炉を採用することにして、栗田工業株式会社(本社=大阪市)と、とりあえず本体工事を1,600万円、ゴミ搬入施設と従業員用の浴場、便所、手洗室などを100万円で契約した。新焼却炉は1日20トン进行处理できる。

国民健康保険

来年1月から全家族へ7割給付

市国民健康保険では、家族の7割給付実施を懸案としていたが、8月12日付で厚生大臣承認の内示があっ

たので、いよいよ42年1月1日から実施する

ことにした。これにより国民健康保険加入者は全員、医療機関の窓口へは医療費の3割を支払うだけでよいことになる。

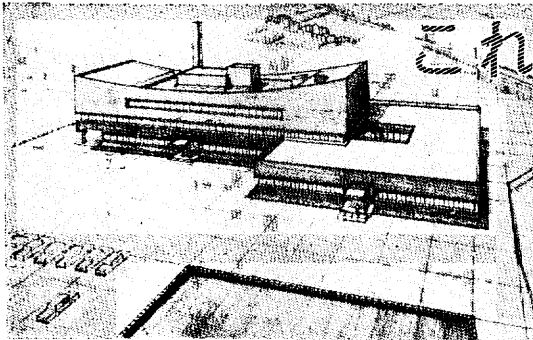
明るく正しい選挙ポスター入賞者

市選挙管理委員会が募集した「明るく正しい選挙」の宣伝ポスター入賞者は次のとおり決まった。応募点数は小学校150点、中学校152点、高校2点であった。

- 小学校 ▼1等=上野高史(鳥栖北5年) ▼2等=田中敬子(鳥栖5)
- 池田武則(鳥栖4) ▼3等=吉竹洋介(鳥栖4) 池上くみ子(鳥栖5)
- 森田信子(鳥栖5) 中学校 ▼1等=該当なし ▼2等=高木幸子(鳥栖3)
- 織田昭八(基里1) ▼3等=並木右兵衛(鳥栖3) 浜野多岐(鳥栖1) 鳥実明(基里2)

— 国税のご相談承ります —

市役所税務課の窓口「税務に関する質疑用紙」を置いていただきます。税金のことでわからないこと、困ったことがある場合は用紙に書いて係に出していただく、後日税務署から文書なり直接お会いするなりして回答いたします。 鳥栖税務署



これが新しい市庁舎

中央公民館前に11月着工

新市庁舎完成予想図 右側入口は市民専用、左側入口は職員専用。3階は市議会議場。庁舎前の黒い部分は池。

新市庁舎の基本設計ができあがりくわしい配置図等が9月市議会で発表された。建設規模は将来基山町や中原村と合併する

の。市議会議場も3階にゆったりした広さをとっている。

総額2億7,000万円を予定し、その支出計画は、今年度4,700万円、42年度1億4,000万円、43年度8,300万円となっている。10月末には入札し、11月上旬着工となるよう準備を進めており、完成までに約1年を要する。

なお、建設地の宿町1,118番地(中央公民館前)にはすでに消防庁舎が昨年完成移転しているほか、近くには県葉業指導所、商工会館などが工事中であり、この地域は新しい官庁街としての発展が予想される。

柳団地(萱方町)の住宅購入者を募集

佐賀県労働者住宅生活協同組合が建設する土地付分譲住宅の購入者募集が始まります。

建設場所は、①市内萱方町字柳＝柳団地②佐賀市高木瀬第2団地③同第3団地の3カ所で、同組合の住宅が市内に建てられるのは初めてです

建設戸数は高木瀬第2、第3団地が合計32戸、市内柳団地に33戸で、木造セメント瓦ぶき平家、家の広さは約55平方メートルから約60平方メートル、宅地の広さは約217平方メートルから約233平方メートルまで各種あります。

申し込み受付期間は10月17日から11月26日までです。次の要領によってお申し込みください。

募集要領

申込者の資格 ①県内に住んでいる人。県外居住者で県内に勤務している人②現に住宅に困っている人で自分が住むための住宅を必要とする人③この住宅に同居する親族が1名以上ある人④独立の生計を営み、公庫の融資償還月額が5倍以上の月収のある人。融資償還月額は最高7,522円。月収には賞与月割額と永続性のある、家族の副業収入等も合算することができます⑤本人と同等以上の収入のある保証人2名以上があること⑥所定の頭金を指定期日までに

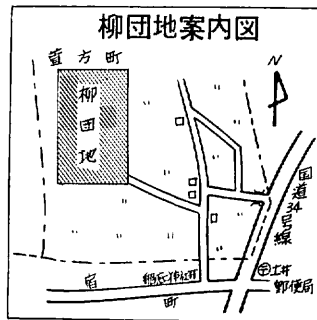
ことを考え、15年後の人口を約8万人、市職員を約645人(現在378人)のうち本庁勤務者数を439人と予定したもので、延8,000平方メートルとなっている。緑地帯や駐車場などもたっぷりあり、市政の中心としてはずかしくないも

納入できる人⑦申し込みは1世帯1戸に限ります

分譲価格(予定) 約170万円(住宅金融公庫融資103万円、頭金約67万円)

抽せん日時と場所 ①柳団地＝11月2日午後1時、本町1丁目協栄会館②高木瀬第2、第3団地＝11月1日午後1時、佐賀市松原町青年会館
しゅん工予定 ①柳団地＝42年1月下旬②高木瀬第2＝42年1月下旬③同第3＝42年2月下旬

申込場所 ①県労働金庫鳥栖出張所(本町1丁目佐賀銀行鳥栖支店から北へ約80メートル、電話3728番)②県労働金庫(佐賀市松原町73、電話③7171番)



問合わせ先 申込先の県労働金庫鳥栖出張所でくわしく教えます。

布津原町の分譲住宅は11月に募集

県住宅供給公社が布津原町に建てる予定の分譲住宅46戸の購入者募集は、11月に行なわれる。くわしくは11月10日発行の市報に掲載する予定

市営住宅16戸を建設中

第2種市営住宅16戸を萱方団地に建設中。完成は11月末で入居募集は11月中に行なう予定。

ブラジル派遣拓殖実習生を募集

全国拓殖農業協同組合連合会はブラジル拓殖実習生を募集している。派遣人員は全国で15名、実習期間は往復の船中を含めおおむね1カ年間で横浜出港は来年3月2日の予定。18才以上35才未満の男子であることが必要。

そのほか、くわしいことは市農林課か、県農地開拓課へおたずねください。

山はすっかり秋。九千部～石谷山のハイキング・コースはいかがでしょう。このあたりは県が観光ルートとして計画している佐賀スカイライン（仮称）の東の拠点となるところで、開発の手が待たれています。

市でも同山開発3カ年計画の初めての事業として、いま九千部山頂に



九千部山頂で 右から徳富副知事、安原市長、迎市商工課長、原県観光通商課長

鉄筋コンクリートの展望台を建設しており今月末に完成する予定です。

また9月21日には徳富副知事らが現地をおとずれ、安原市長から説

山まで約3キロは、もっとも山歩きの意味の深いところで、林を抜ける道がづく。九千部から約1キロのマイクロウェーブ反射板のところ

副知事さんもお気に入り ・・・ 九千部山～石谷山 ・・・

明を受けましたが、九千部～石谷山の尾根歩きは、おもむきが深いとお気に入りのようでした。山のもみじも今月末ごろから見ごろです。

Aコース 市内バス神辺線終点の松本で下車、上の車、杓子が峯山すその林道を河内町万才寺まで約4キロ。万才寺前をわずか過ぎると右手へ取り付く（道標あり）。ちょっと苦しいが見晴らしのよい尾根を約30分歩くと広い林道に出る。約1キロで九千部山頂（標高874.5メートル）に着く。

九千部から石谷山（標高754.4メートル）へはテレビ塔の東側から右手に新しい道をとる。ここから石谷

までは割に広い道。石谷山からはお手洗の滝まで下り道で、カシの林をしばらく行くと、右手に広いスキの原もある。約2キロでお手洗の滝だが、滝に下る直前は急な坂だから注意。

Bコース 市内バスあずま（四阿屋）線の終点牛原下車、転石、貝方、大谷を通る表コースで、Aコースより近道。あずま橋から大谷まで約4キロ。ここから新しい林道を終点まで歩き、左手のヒノキ林にはいると登山道があり、約1キロで頂上。石谷山へはAコースと同じ。全コースとも、市役所と高校山岳部の道標がよく整備されている。

市内バス 四阿屋線 10月1日から毎日運行

毎年夏の間だけバスが走っていた四阿屋（あずま）線は、この10月1日から市内バスとして毎日運行されることになりました。これに伴って道順に多少変更があり鳥栖駅前から

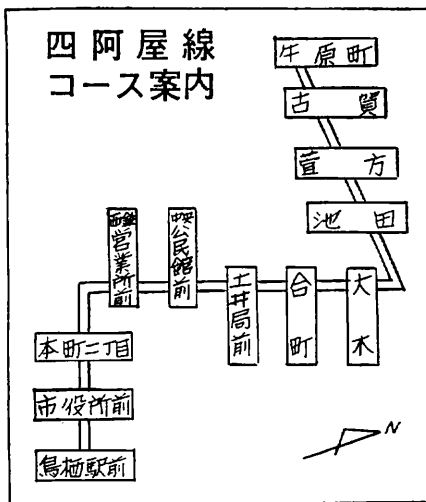
市役所前を通り国道34号線に出て、中央公民館前～土井郵便局前～合町～大木～池田～萱方～古賀～牛原というコースになりました。鳥栖駅前から牛原町まで30円。発車時刻は次の通りです。

「うまく人を扱う」ように、「常に仕事を改善する」ように、訓練をします。

これによって、会社や工場の生産性を高め、人間関係を円滑にしようというわけです。講習料は1コース4,000円。問い合わせは佐賀市兵庫町国鉄伊賀屋駅前、佐賀総合職業訓練所（電話は佐賀局④-4232番）へどうぞ。

職種別訓練通信講座

労働省認可職種別再訓練通信講座は受講生を募集しています。募集職種は機械工、仕上げ工、鋳鉄鋳物工、建築大工、機械製図工、板金工、左官、配管工、家具工、建具工です。訓練期間は1年間。修了者は、2級技能検定試験の学科試験が免除されます。受講のびきは佐賀県庁内職業安定課（佐賀市城内1丁目1番59号）にあります。切手20円を添えてお申し込みください。



鳥栖駅前発	牛原発		
6.30	15.20	7.00	15.49
7.27	16.13	7.56	16.42
8.28	17.39	8.50	18.08
9.55	18.33	10.25	19.02
12.06		12.35	

監督者訓練で生産性向上を

佐賀総合職業訓練所は職場の監督者を訓練する手助けをしています。職長とか組長、班長といったような職場の第一線の人々が「よく仕事を教える」ように、

田代中に南の海から贈り物 市出身のご老人が親善使節

田代中学校にこのほど鹿児島県の小学校から、りっぱな貝がらの標本が贈られ生徒たちを喜ばせている。

贈り主は肝属郡佐多町佐多小学校の児童たちだが、そのかげに永吉町日恵寺出身のあるご老人の郷土愛がこめられている。このご老人は秋山盛一さん(84才)で鹿児島市内で小児科医をしている。

秋山老人の友人、佐多小学校教諭米盛徹郎さんとの間に、両校の児童生徒たちがお互いに交歓するようになればという話が持ち上り、そのき



秋山盛一さん



今泉町子どもクラブ育成会(篠原茂一郎会長ほか47名)は9月11日貸切バスで阿蘇青年の家に行き「子供クラブのありかた」などの勉強をした。

これは8月26日
 発表した「子供ク
 ラブ」をもちあげ
 ていくためにまず

親たちが子供クラブのありかたを理解しなくてはというので市教育委員会に相談して決めたもの。

会長の篠原茂一郎さんの話では「一泊の研修だからと気軽に思っていたが、行ってみて徹底した指導には驚いた。きびしい研修にもかかわらず、スムーズにそのふんい気にはいってける指導ぶりには感心した。今後の子供クラブの発展にぜひ役立たい」と話していた。

9月18日親善使節として、わざわざ田代中を訪れた秋山老人の話では佐多小学校の児童たちは、海岸で生きた貝を集め、米盛先生が標本に仕上げたという。貝がらの標本とはいっても拾った貝がらでは色があせていたり、こわれやすかったりするから、生きた貝から作らなければならぬそうだ。

5つの標本箱には二百数十種類、大小の貝がらが納められ、1個1個に名前もつけてある。白、桃、黄、青、茶などのあわい色どりをみると南の海への郷愁を呼びさまされそう。

田代中生徒会は、とりあえず佐多

小児童会へお礼の手紙を送ったが、こちらからも何かプレゼントをしようと話し合っている。

高尾校長の話聞きながら、珍しい貝がらに見入る生徒たち

阿蘇青年の家は、宿泊料無料、食費1人につき1日250円。研修を受けたい内容を記入して申し込むことになっている。

現在市内には16部落に子供クラブがあるが、市教育委員会では、全市に子供クラブが誕生するように呼びかけている。また発表されたクラブで指導、育成になやみがでた時は教育委員会から講師をさしむけてご相談にのりますからご連絡ください。

九電でサービス強調月間

九州電力は10月中を「サービス強調月間」とし▲1日営業所または移動相談所開設▲屋内配線や電機器具の診断と修理、などを行ないます。くわしくは九州電力鳥栖営業所へ。

日本学生科学賞の県代表に久保くん(鳥栖中)



ラジオの研究をする久保くん

雨が降り出すとブザーが鳴って家の奥に知らせる——雨降り報知器を考えた中学生が話題になっている。

話題の主は鳥栖中学校2年生の久保忠伴君(秋葉町2丁目)。このほど佐賀市で開かれた第10回日本学生科学賞予選で優秀作品に選ばれたが久保くんがこれを考えた動機はおばあさんへの優しい思いやり。

久保くんの家は広いので、雨が降り出しても気がつかず、せんとく物をぬらしてしまうことがよくある。そのたびに困るのはおばあさん。久保くんは、かねてラジオ組み立てなどを科学少年なので、思いついたのがこの雨降り報知器である。一滴でも雨がつかると電流が流れるよう銅の検査板を戸外に出し、それをブザー回路につないでおく仕組みがブザーがなるまではひと苦労。

まず3ボルトの電池を使ったが、電圧が足らずブザー音が低い。電池をいくつも使うと電池の消費が多く高いものになり実用的でない。いろいろ実験した末久保くんはラジオ用に買っていたトランジスター(2SB77)を使って成功した。トランジスター保護のために2カ所に抵抗を入れてできあがり。8月27日待ちに待った雨が降ってブザーが鳴った時は、おばあさんと大喜びしたそうである。

この雨降り報知器は県内の中学生の研究94点から選ばれた3点に入賞したもので、近く中央審査に出品されることになっている。

オ5回文化祭 展示作品を募集

11月3日の文化の日を記念して、恒例の文化祭を行ない、写真、美術書道そのほかの作品を展示します。出品要領(カッコ内は部門責任者)

写真 自由作品で未発表のもの、作品の裏に応募票をつける。白黒写真は四ツ切以上、カラーは六ツ切以上、額入りか枠張りのこと。組写真もよい。(市役所総務課篠原真)

美術 油絵、水彩画、パステル、日本画など。大きさは自由。額入りまたは表装。(北小八雲卓爾)

書道 自由作品で未発表のもの。大きさは自由、仮巻または表装。積文(洋紙6分の1縦)をつける。(藤木町平川朴山)

生花 自由(今泉町吉松光枝) **短歌** 題材自由、1首短冊自書。(秋葉町2丁目松隈伊和見)

俳句 自由。(京町岡すきえ)

手芸 自由。(本通町1丁目松尾光子) 小中学生の書道と美術作品 各校まとめて出品すること。

展示会場 写真=市民集会所 ▽美術=公民館大ホール ▽書道=第2会議室 ▽生花=大ホール ▽短歌第1会議室 ▽俳句=講義室 ▽手芸=大ホール ▽小中学生作品=大ホール **作品搬入** 11月2日、搬出は11月6日午後5時以後

展示期日 11月3日～6日、小中学生の作品は10月28日から11月4日まで。

出品点数に制限なし。手数料不要。作品の裏に、住所、氏名、作品の題などを記入した出品票をはること。

今月の家庭園芸

▼花の種まき、植えつけはすんだと思いますが、10月中旬までは適期。

▼種をまく花=ワスレナグサ、ヤグルマソウ、キンセンカ、ナデシコ、セキチク、ルピナス、ハナビシソウ

中 又跡を たずねて

五反三步の堤

ごたんさんぶ

村田 町

室町時代も終わりに近い永禄3年(1560年)今の佐賀市鍋島町に生まれた成富兵庫茂安は、幼名を千代法丸といった。11才のとき、

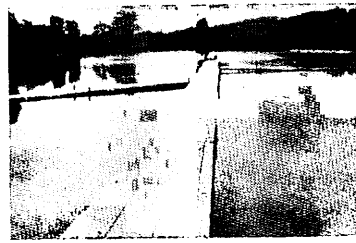
父信種が制するのときかず戦場に行き、相当の働きをして主君龍造寺隆信の一字を受け新九郎信安と名のつた。

その後、数々の出陣に加わり、1カ月に10の手柄をたてて十右衛門の名をもらったほどの武者ぶりを表した。龍造寺隆信が島原の乱で敗れ、鍋島直茂の世になってからはその一字をもらって兵庫助茂安になった。

若いころは手におえない乱暴な行ないもあったというが父信種の「土中に金あるが如し」という言葉に感じて、鍋島直茂の命により川上川を始め20有余の築堤治水に専念した。

鳥栖市内にも幸津井樋と五反三步の堤があり、幸津井樋は安良川の朝日山東麓付近から水を取り、幸津町、儀徳町、下野町のかんがい用水として使われている。無理な水の流れを作らないようにうまくカーブが作られているが、このために要所要所に人をたてて位置づけをしたという。

五反三步の堤は、中原村、北茂安町白壁、同東尾、三根町江口等の干ばつを防ぐために作られた。この堤は肥前で初めてのもので、



いまはコイの養殖も行なわれている五反三步の堤

尺八という樋管はこの時茂安が発明した苦心の作である。

茂安は手ずから古い釜を堤の中に埋めこみ、「後世

カメ、カワウ

ソ、ヘビなどが住みついて災いを起こすことのないように汝は堤の主となって守れ」と祈ったので人々は彼の深慮に感心した。

こうした成富兵庫茂安の人となりを知っていた熊本城の加藤清正は「1万石を与えるから肥後にきてもらいたい」と誘ったが、茂安は「旧恩の主を見捨てて、新しい主に仕えることは、武士の本意でない」と葉がくれ武士の一端を見せたという。

キンギョソウ、ヒナゲシ、カスミソウ、スイトピー▼球根を植える花=水仙、チューリップ、ヒヤシンス、フリージャー、アネモネ、イキシアクロッカスなど。芽が出るまで長くなる時は、鉢のへりまで畝に埋めてもよい▼夏を無事に越した鉢植えもこれからの管理が大切。サボテンラン、熱帯性観葉植物などは水やりを加減して充実をはかろう。▼菊は先輩の花をたずねて教えを乞い来年にそなえ、花のすんだ鉢は名札を書

きなおしておく。▼白菜は野崎、長崎、花心など。大根はおおくらなどがよく、ほうれん草、ふだん草なども種まきの時期です。レタスの育苗や二十日大根は魚箱利用もよいものソラマメ、エンドウは11月上旬か中旬が適期▼庭木や果樹のダニ、てっぼう虫の防除を徹底的にやること。幼木では根もとのモグラに注意。また根もとを踏み固めたため育ちのよくないときは、浅く耕やし薄い肥料を与えるのもよい方法。

国民年金
コーナー



福祉年金の支給額は毎年改正されてきましたが、さらに42年1月から次のように引き上げられます。

老令福祉年金 70才以上の人に年額1万8,000円の年金が支給される(現行1万5,000円)

障害福祉年金 体が大変不自由な人に年額2万6,400円の年金が支給される。(現行2万4,000円)

母子福祉年金 母子家庭に年額2万400円と子どもが2人以上のとき

は2人目から1人について4,800円を加算される。(現行1万8,000円)

準母子福祉年金 母子家庭に準ずる家庭に母子福祉年金と同じ額の年

大幅に引き上げ
られた年金額

②

金が支給されます。

未支給福祉年金 福祉年金を受け資格がある人が、年金支給の裁定請求をしたあとでまだもらえる年金を受けとらないまま死亡した場合、

死亡した月までの分の年金を本人と生計をともにしていた遺族がかわって受取ることができます。この請求は死後6カ月以内になければなりません。

所得制限をゆるめる 福祉年金は一定の基準以上の所得のある人は受けられません。この所得制限が昨年中の国民所得の伸びを考慮してゆるめられました。

◎受給本人の所得による支給制限限度額…24万円(現行22万円)

◎扶養義務者の所得による支給制限の限度額…扶養親族が5人の場合で81万7,500円(現行71万6,400円)

寄 付

香典返し

社会福祉事業費へ ▽真木町八坂伊六さんから(母エキさん死亡のため)▽神辺町渡辺恒夫さん(父徳平さん)▽大正町錠敏推さん(父文八さん)▽飯田町原研さん(父茂市さん)▽永吉町毛利正男さん(母タカさん)▽本町権藤健治さん(祖母イネさん)▽桜町白水正利さん(妻フキ子さん)▽村田町中村芳信さん(母初代さん)▽田代大官町久光一郎さん(祖母ツ子さん)▽立石町野口芳太郎さん(母シナさん)

育英資金へ ▽京町豊増忠清さん(父清吉さん)▽下野町古賀良明さん(父良一さん)

一般寄付

学校などへ ▽輪転機一台・アルトサクス1個・手押カンナ1個(合計20万3,000円)…田代大官町江見製袋KK(江見多久一社長)から田代中学校へ▽校旗1枚(8万円)

…江見多久一さんから田代小学校へ▽4人乗鉄製ブランコ1台(3万8,000円)…旭小学校PTA(小田一男会長)から旭小学校へ▽交通信号器模型2台・まり入れバスケット1組(合計1万円)…元町橋本健さんからいずみ園へ

消防団へ ▽消防士ヘルメット140個・分団旗5枚(合計20万円)…田代大官町江見多久一さんから各分団用として

寄付は紙面のつこうで半分は来月号に掲載いたします。

幸せを守りつづけて50年

郵便局の簡易保険

郵政省の簡易保険は、創業50周年を迎えました。おかげさまでみなさまの生活の役にたてていただいております。とくに昨年発足しましたクローバー保険は、災害死亡のときは満期保険金の3倍を支払う仕組みになっており、たいへん好評をいただいております。若いうちにぜひご加

入ください。

すでに簡易保険に加入していらっしゃる方へも、この際長期、最高額への追加加入をおすすめします。鳥栖郵便局の保険取扱窓口は保険課(電話2709番)です。お気軽におたずねください。

住みよい郷土を郵便貯金で

郵便貯金は国の財政投融资となりわたしたちのまちの住宅や、学校や道路づくりに大きな貢献をしています。10月中は「住みよい郷土をつくる郵便貯金奨励運動」を行っていますが、郵便貯金の大きな働きをご理解いただき、なお一層の預金をお願いいたします。 鳥栖郵便局

心配ごと相談所

心配ごとなら相談所へおまかせください。秘密厳守、無料。
●相談日は毎週水曜午前9時から。●郵便による相談にも応じます。●各支所に相談ポストを置いてありますのでご利用を。

福祉事務所内心配ごと相談所
(古野町 電話 2302番)
3111番

秋に教養を高めよう

毎月1日入学

毎月1回、無料料理講習もあります。問い合わせ、申し込みは学院へどうぞ

料 理 書 道
華 道 謡 曲
茶 道 英 会 話

鳥栖文化学院 銚田町 電話3843番